

おいしい"という幸せ

加計中学校 一年 瀬戸 柚花

私には、家族がいます。私には、おいしい

ごはんがあります。そして私は、家族みんな

で、そのおいしいごはんを食べられます。こ

れは、日々の生活の中で、最も幸せな事だと

私は思います。

ピピピピ。と毎日、目覚まし時計の音で

起きる事から私の一日は始まります。試合の

目、おはよう。おはよう。起きてりこん

安芸太田町立加計中学校

かに行く、待っているのは、おいしそうな

匂いと、彩りの良い朝ごはんです。試合の日

は、いつもとは違って、朝ごはんは、ごはん

と、魚とスープのようになお米の

朝ごはんを母が作ってくれます。そんな朝を

過ごして、よし！勝つぞ！という気持ち

で試合にのぞむ事ができるのです。

私の学校では、毎日、部活があります。

から、昼食は、お弁当です。母が作ってくれ

ているお弁当には、時たま、ケチャップで

ツセージが書いてあり、午後か5の歌の
 ために、塩分やミネラルを補給できるものを
 入れたりしてくれそうです。昼食は友達と食べま
 す。何気ない
 「昨日、何かテレビ見た？」
 「あ、〇〇見たよ」
 「私も」
 巻ごという会話が、とても楽しいです。お昼
 ごはんは、前のメニューセージなどと、友達との
 会話で元気が出ます。だから、毎日、開ける

安芸太田町立加計中学校

のを楽しみに午前中を頑張る事ができます。
 そこからは、歌を一部の人とします。
 家に帰ると、夕食を作っている途中で、朝
 近くの人がからもらった新鮮な野菜が、おいし
 そうに調理されていきます。私の家も食べてい
 る物は、ほとんどが近くの人ももらった野菜
 やお米です。七年前までは、私の家でもお米
 を作っていました。作るのがいなくなつた
 ので、今は作っていません。
 「これ、どらたん？」

「近所の〇〇さんからもらった。」「
 という会話をよくします。母にくれた人を聞
 いて、その「作」ている人が分かること、親し
 いその人の顔が食べている時に思い浮かぶの
 で、より、おいしく、よりうれしく食べる事
 ができます。食べながら、自分の恵まれてい
 る環境に気づく事ができます。私はい、
 夕ご飯は、家族そろって食べます。私は、
 自分が恵まれていると思います。なぜなら、
 おいしいごはんがあって、家族と、
 今日学校どうだった？
 会話もしたり、
 「何それ、あはは」
 と笑い合う事もできるからです。世界には、
 親や家族がいない人、ごはんが食べられない
 人がたくさんいます。そう考えると、バラン
 スの良い食事があって、いっしょに食べる家
 族がいて、その家族と温かい会話ができる私
 は、とても幸せです。

安芸太田町立加計中学校

家族がいるのは、うれしい事です。お米が

あるのは、恵まれた事です。作ってくれらる母
野菜やお米をくださる地域の人の、いっしょに
食べる友達や家族、たくさんさんの愛情に感謝し
て、いただきます。

安芸太田町立加計中学校